

認証評価第1サイクルの効果と課題

2014. 8
公益財団法人 日本高等教育評価機構

◆ 認証評価第1サイクルの効果と課題

- 「平成23年度認証評価に関する調査研究」
- 第1サイクルにおける指摘事項への改善状況について
- まとめ～今後の課題～

◆「平成23年度認証評価に関する調査研究」



調査研究の概要

①過年度(平成17年度～22年度)受審大学の指摘事項等分析

②アンケート調査の実施

実施期間 平成23(2011)年10月から11月まで

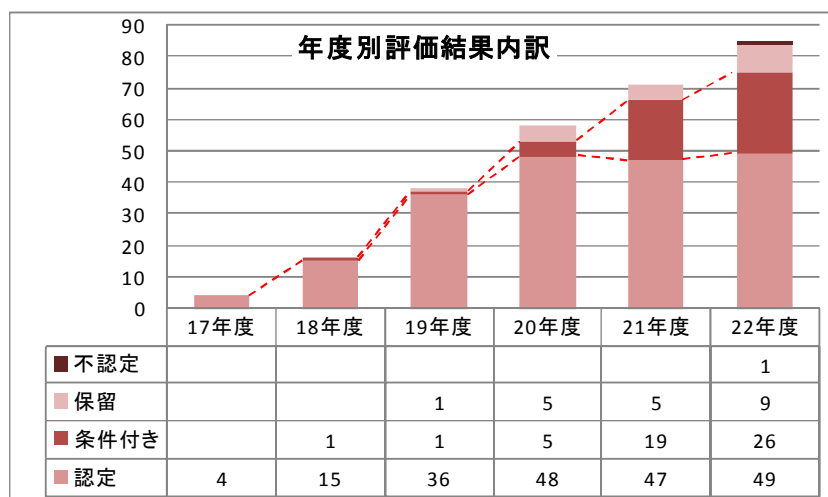
対象大学数 272大学 回答大学 258大学(回収率 94.9%)

③インタビュー調査の実施

対象大学数 6大学

2

◆年度別評価結果内訳



3

I 指摘事項等分析結果

優れた点

：「使命・目的に沿った制度・システム等が十分に整備されており、十分に機能している」事項及び「他大学の模範となる取組み」

優れた点が多くあげられた基準

・「基準10. 社会連携」 316件

公開講座の実施や自治体などへの講師派遣、コンソーシアムなどによる近隣大学との連携や企業との共同研究、図書館や体育館などの施設開放、学生によるさまざまなボランティア活動 など

・「基準4. 学生」 284件

導入教育や補習教育などによる学習支援、充実した奨学制度、学生の意見をくみ上げて学生サービスに反映させる仕組み、資格取得支援や就職支援 など

・「基準3. 教育課程」 245件

建学の精神や使命・目的を具現化するための教育課程の編成や科目の設置及び教育目的の達成状況を点検・評価するためのさまざまな努力 など

I 指摘事項等分析結果

改善を要する点

：「使命・目的に沿った制度・システム等の整備が不十分であり、ほとんど機能していない」事項及び「関連法令に抵触する」「現状のままでは大学運営に支障をきたす重大な不備事項」「学生やステークホルダーに対して不利益を生じ得る事項」など

改善を要する点が多く指摘された基準

・「基準7. 管理運営」 104件

理事会・評議員会について、その運営方法、理事、評議員及び監事の役割や出席状況、寄附行為などの諸規定の違反 など

・「基準3. 教育課程」 79件

教育研究上の目的の学則への明示や成績評価基準等の明示、1年間に履修登録ができる単位数の上限が設定されていない場合 など

・「基準8. 財務」 68件

定員未充足に伴う学生生徒等納付金の減少による財務基盤及び財務状況に問題がある場合や支出超過による収支のバランスを欠いた運営 など

I 指摘事項等分析結果

参考意見

：「使命・目的に沿った制度・システム等は整備されているが、あまり機能していない」事項及び「軽微な問題点」「問題点等や使命・目的等を十分に達成するために必要と考えられる意見」「改善が望ましいが、大学に判断を委ねる事項」など

参考意見が多く指摘された基準

・「基準3. 教育課程」135件

1年間に履修登録ができる単位数の上限が設定されていない場合や成績評価基準の明示状況について など

・「基準7. 管理運営」88件

自己点検・評価活動について、自己点検・評価報告書の公表状況や自己点検・評価活動の体制や結果の反映状況について など

・「基準9. 教育研究環境」71件

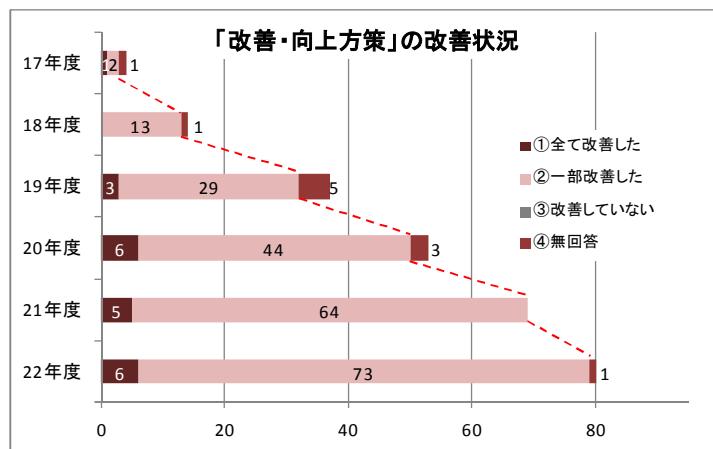
施設のバリアフリー化の整備状況、建物の耐震補強の整備状況、施設設備に関する長期改修・修繕計画の策定状況について など

II アンケート調査集計結果

認証評価受審後の取組み状況について

97.7%の大学が認証評価が大学の改革に役立ったと回答。

95.7%の大学が改善に取り組んでいる。

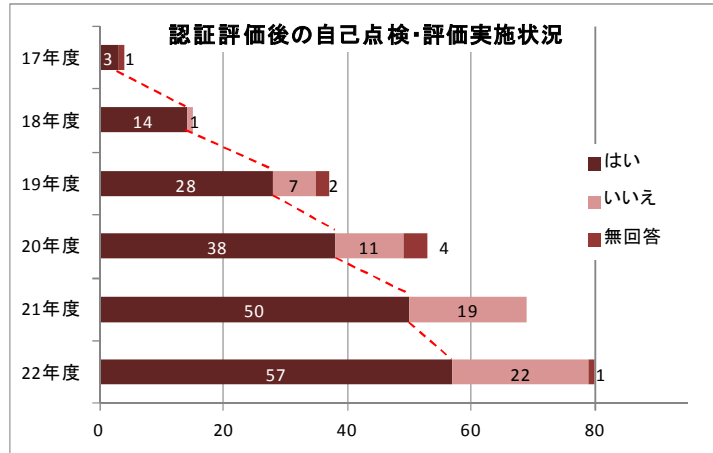


II アンケート調査集計結果



認証評価受審後の取組み状況について

認証評価受審後、7割以上が自己点検・評価を実施



8

指摘事項等の改善状況(改善報告書)



条件付き認定の大学

52大学に対して60の条件

理事会・評議員会について、その運営方法……………	18/22件
教育研究目的を達成するために必要な財政基盤の改善…	0/19件
自己点検・評価体制を恒常的に行う体制の確立……………	1/10件
収容定員充足率の改善……………	1/2件
教員の配置状況の改善……………	1/2件
予算編成方法の改善……………	1/1件
規程の整備など組織倫理に関する改善……………	2/2件
建物の耐震性などの改善……………	1/2件
平成25(2013)年度までの改善報告書提出状況……………	25/60件

	22年度	23年度	24年度	25年度	計
「改善が認められた」	1	7	4	5	17
「概ね改善が認められた」	2	3	1	1	7
「改善が認められないので、継続的な改善が求められる」				1	1
合計					25

9

指摘事項等の改善状況(再評価)



保留の大学

20大学37基準の評価を保留

基準2	意思決定に関わる会議体の位置付けが不明確など	3/3件
基準3	教学の管理運営上の重大な問題	1/1件
基準4	収容定員の未充足	2/3件
基準5	必要専任教員数及び教授数の不足	10/10件
基準7	理事の欠員など、管理運営体制の不備	12/12件
基準8	不安定な財務基盤、不適切な会計処理など	7/8件
平成25(2013)年度までの再評価による改善状況		35/37件

	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	計
「認定」	1	4	3	3	7	18
「不認定」				1		1
				合計		19

10

まとめ～今後の課題～



- 不認定(不適合)大学へのフォローアップ
 - ・評価システムの検討
- 評価員の確保
 - ・特定の分野における年度ごとの偏りや事務系職員の評価員
- 大学への情報発信
 - ・評価基準の理解推進
 - ・評価結果及び指摘事項の共有
- 社会への情報発信
 - ・評価結果の公表と活用

11